

“まちなみ園芸”の実態とつくり手意識に関する研究

—京阪地域における戸建住宅地を対象として—

川口 将武, 榊原 和彦

A Study on Streetscape-conscious Gardening and Attitude of the Residents

— Case Study of Residential Area in Keihan Region —

KAWAGUCHI Masatake, SAKAKIBARA Kazuhiko

Abstract

Streetscape-conscious gardening which is done by ordinary citizens is one of the important means of “Hana-to-midori-no-machizukuri” which means town improvement movement with flowers and plants. So a study was carried out aiming to know the actual conditions of the gardening from the view point of designing and attitude of the residents. The results may be summarized as follows: 1) 88% of 76 local governments which have more than 50,000 population in Kinki Area are working on “Hana-to-midori-no-machizukuri”, 2) gardening forms are classified into 4 types - spotted, linear, two dimensional and three dimensional types, 3) gardening is done for such aims of decoration, presentation, and satisfaction of demands in daily life, 4) most of people hold affirmative and open-minded attitude as to gardening being watched by passers.

Keywords : Streetscape-conscious gardening, “Hana-to-midori-no-machizukuri”, Attitude of people, Boundary Space on street

1. はじめに

1-1 研究の背景

近年、市民が花、緑、オープンスペースを身近に享受できるようなまちづくり、いわゆる「花

2008年2月29日 原稿受理

大阪産業大学 工学部環境デザイン学科

と緑のまちづくり」が全国各地の自治体で進められている。その施策においては、行政による公共的な緑の整備とともに、市民一人一人が暮らしの中で行う身近な緑化や維持活動に大きな期待がよせられている。

この中で、私的な緑である個人の住戸において、内向きではなく外（まちなみ）へと表出する園芸は、花、緑の量的増加に貢献するばかりでなく、そこに住まう居住者の趣味や嗜好を表出し、個性ある生き生きとしたまちなみの形成に寄与すると評価されよう。このような、各戸のファサードや外回りの空間と同様に、まちなみの形成に関わるような個人的・私的園芸一般（行政の施策の一環としてであるか否かを問わない）をここでは“まちなみ園芸”と呼ぶことにする。これが、市民によりどのような意識で、どのようなしつらえを持って行われ、更に、今後どのようにそれらを展開すべきか考察することは、身近な生活景を美しく変容させていく手立てを考える上で、意義は大きいものと考えられる。

1-2 既往研究の整理と本研究の目的

本研究と関わりがある住宅の庭や接道部に見られる緑に焦点をあてた研究として、密集市街地における鉢植えの緑¹⁾、下町における路地の緑²⁾、戸建て住宅の門、玄関といった接道部の緑³⁾等、個人的な緑化活動の実態を明らかにし、今後の緑化推進への活用の方策を考察する研究がなされている。

また、“まちなみ園芸”が表れる場所である住宅の接道境界部の形態と居住者の空間意識の関係を明らかにした様々な研究^{4) 5) 6)}や、通行者と住民という立場の違う人々が、公私領域の仕切り方の違いによって、形成する街路イメージはどのようなかを、物理的要素との関わりに着目し考察した研究など、今後の住宅地の空間形成の方向性を考察する研究⁷⁾がなされている。

本研究では、住宅の接道部で市民が個人的に行う園芸（術）を景観形成要素として捉え、そのまちなみ形成への可能性と展開の方向に着眼している。

そのために、花と緑を活かしたまちづくりを実践している事例からその動向を探るとともに、実際の住宅地で行われている“まちなみ園芸”活動をデザイン的な側面から実地調査を行い、その住宅地街路への表れ方を類型化するとともに、アンケートからそれらを通じたまちなみとまちづくり全般への意識を把握することを目的とする。

2. 近畿の自治体における花と緑を活かしたまちづくりに関する取り組みと花づくりの動向

2-1 調査範囲と方法

花と緑を活かしたまちづくりについて各自治体における取り組みと、その中での花づくりの動向を把握するために、各施策をホームページ（以後HP）から調査した。

調査範囲は、近畿2府4県の人口5万人以上の市町村（平成16年3月現在。大阪府：33市、兵庫県：15市、京都府：10市但し、平成16年4月市町村合併のため京丹後市は省く。奈良県：8市、滋賀県：7市、和歌山県：3市）とした。各市の公式HPを①～③の3つの方法を併用し、花と緑のまちづくりに関する計画・施策、制度、事業について調査を行った。尚、一つの事業・制度に緑化方法が複数ある場合は、両方にカウントすることとした。①組織（緑化担当課、公園緑化協会等）から調べる。②市の案内・広報（くらしのガイド、施設紹介、助成・相談・イベント情報等花と緑に関する取り組み）から調べる。③HP内をサイト検索するツールから調べる。キーワードは、「花、緑」とする。

2-2 花と緑を活かしたまちづくりに関する取り組み実態

調査した全76市のHPから67市（88.2%）の情報を収集することができた。「緑の基本計画」⁽¹⁾は、そのうち32市（42.1%）と半数近くが策定し、情報を公開していた。目的・理念には、「花と緑の美しいまちづくり」、「花と緑あふれるまちづくり」、「花いっぱいのもちづくり」「美緑花（みりょくか）まちづくり」といった未来像が示され、緑と共に「花」をテーマにまちづくりを展開していこうという方向性が多くみられた。各市のHPから得られた取り組みは、緑化推進のための制度、事業（表1）と緑化普及のための啓発活動（表2）に分類することが出来た。まず、緑化推進のためのものは、樹木を中心とする緑づくりが約70%で、花づくりは約30%という割合となっていた。

その内容は、生垣緑化が31例と最も多く、次いで保護樹木・樹木の指定と助成が17例と多い。全般的に緑づくりは助成金としての資金的支援が中心で、苗木や土、管理材料といった物的支援をする例も多少見られた。一方、花づくり推進のための事業・制度は、活動する主体あるいは花壇やプランターといった物を枠組みにして展開されている。全般的に花づくりは花苗や土、肥料といった物的支援が中心で、資金的支援はあまり多く見られなかった。

次に、緑化普及のための啓発活動（表2）は、講習会や講座（34例）、相談会（28例）といった人材育成活動や技術的支援、コンクール（22例）やイベント（63例）といった緑化意識の向上や促進させるための活動、あるいは活動内容を情報発信し、交流を促す等の支援（16例）、

表1 緑化推進のための制度、事業

分類	取り組み（緑化方法）	件数	%	
樹木（緑）づくりに対する事業・制度	空間別	生垣緑化	31	71.7
		壁面緑化、垂直緑化	9	
		屋上緑化	3	
	施設別（植栽）	駐車場緑化	1	
		共同住宅緑化	4	
		地区緑化	4	
		事業所・工場緑化	4	
		学校緑化	1	
		公園・広場・公道に面するオープンスペース緑化	5	
		シンボルツリー・記念樹緑化	4	
	テーマ別	保護樹木・樹林の指定と助成	17	
		維持管理活動への助成	3	
グリーンバンク（緑のリサイクル）		5		
花づくりに対する事業・制度	主体別	個人（の集合）で花を育てる	4	28.3
		団体で花を育てる	15	
	物的対象別	花壇で花を育てる	9	
		フラワーポット、グリーンボックス等の貸し出し、設置への助成	8	
合計		127	100	

表2 緑化普及のための啓発活動

分類	取り組み内容	件数	%	
人材育成活動	講習会 園芸・ガーデニングの各種講習会・教室	26	34.6	
		リーダー養成講座		8
相談会	相談所を設ける	28		
緑化意識の向上	コンクール	緑自体が対象となるコンクール	15	47.5
		緑の写真、ポスター等の緑以外のものが直接の対象となるコンクール	7	
	イベント	緑化フェア、フェスティバルのように一種のお祭りで、その中で各種の催しが開かれるもの。	35	
		緑の展示会	18	
		シンポジウム、会議などの開催	3	
		スタンプラリー等の参加型イベント	7	
交流	情報発信 緑化啓発冊子・情報誌等の発行	16	8.9	
活動への支援	ボランティア ボランティア団体の事務局を置く	16	8.9	
合計		179	100	

ボランティア活動に対する支援（16例）が行われている。普及啓発活動では、緑化意識の向上に関する活動が約48%とほぼ半数を占め、最も積極的に取り組んでいることがわかる。

以上のような自治体の施策は、「官民協働による緑のまちづくり」を基本的な理念としているものが多く、ほぼ全地域に共通したものといえよう。

2-3 花をテーマとした戸建住宅対象の緑化助成制度

調査した全76市のうち3市が、戸建住宅における個人的な園芸をある一定のまとまりとなるような条件を設定し、接道部において花を育てることに對して助成を行っている（表3）。助成内容は、花苗、種子、土、肥料、プランターといった物的支給が主で、助成金なども支給している。まちなみ形成に係わる重要な点として、吹田市では3軒（約30m）以上、伊丹市では

概ね連続する10戸以上、神戸市では100m以上の区間又は1街区以上の範囲といった基準を設けており、見る人が建物一軒一軒の緑花の表情が認識できる距離から、連続的な通りとしてつながりを形成することを意図した制度となっているといえよう。また、吹田市では四季の彩りを演出する草花を配付したり、伊丹市では同一種によって統一的に草花を植栽し、まちなみの個性化を創出するよう計画されているといえよう。

これらの助成制度が阪神間にのみ導入されていることは注目すべき地域的な特長といえる。その背景には、①高度経済成長期に都市部での緑量不足に対して、緑化100年宣言（大阪市，1964）やグリーンコウベ作戦（神戸市，1971）といった目標をいち早く立案し、公園緑化を先進的に推進してきた地域であること②第1回（大阪府）、第3（神戸市）の全国都市緑化フェアや花と緑をテーマにした国際博覧会（国際花と緑の博覧会〔大阪市，1990〕、淡路花博ジャパンフローラ2000〔兵庫県，2000〕）といった大イベントが開催されたことを契機とし、積極的に花づくりに取り組んでいる地域であること③いずれの市も花や緑づくりを推進する拠点施設⁽²⁾の整備がなされており、市民への緑化意識の啓発や技術的サポートを積極的になされてきた地域であることが挙げられよう。

表3 戸建住宅対象の緑化助成制度

市名	名称	助成条件	対象空間	助成内容と方針	備考
吹田市 建設緑化部 緑化公園 室緑化推進課	みどりの協定と助成 1998(H10)年施行	一戸建て住宅：連続して3戸以上で、おおむね10m以上の接道部を緑化すること	みどりの協定を締結している区域のうち、道路境界線からおおむね1m以内の区域	・花壇植えの草花、プランター植えの草花、プランター（用土を含む）、肥料等 ・配付時期及び種類については、配付計画、一覧表による	協定数 (2004年現在) 個人：8件 共同住宅：13件 事業所：1件
伊丹市 都市基盤部 みどり室 みどり課	庭先花壇協定 1986(S61)年施行	・おおむね連続する10戸以上の住宅の居住者 ・「市民緑化協定」の期間については、5年以上を原則とすること	住宅の敷地内の道路、公園などに面する部分	・花木低木の苗木、または草花の種子を配布 ・同一種類の花木低木（例えばツツジなど）または草花（例えばコスモス、ヒマワリなど）を植栽して維持管理を行う	協定数(2004年現在) 自治会：10件、 個人グループ：50件
神戸市 建設局公園砂防部 緑地課	緑と花の市民協定 (まちなみ飾花) 戸建：1976(S51)年 ベランダ：1985(S60)年施行	100m以上の区間又は1街区以上の範囲で協定。当該地域にお住まいの方で協定を締結(70%以上の方の同意が必要。)	沿道に面する戸建住宅等の敷地内	苗木又は草花等の助成(1戸あたり年間1回程度) 連絡助成金の交付(1協定あたり年間10,000円)	協定数(2004年現在) 戸建：7件、 ベランダ：2件

3. “まちなみ園芸”の実態調査

3-1 本研究における“まちなみ園芸”と調査対象

本研究における調査対象の緑は、花卉が地植えや可動性のある鉢植え・プランターに植えられたものに限った。“まちなみ園芸”とは「住人が住戸において植物を育てる行為がまちなみへ表れ出てくること」であり、それが最も表れやすいかたちがこれらであるからである。また、住戸としては、前庭のないあるいは広さが十分でないといった空間的制約を受けながらも、住人の創意工夫によって積極的に“まちなみ園芸”を行っているところについて、その実態を捉えることに主眼をおいた。そのため、できるだけ多様な実態が把握できるように、調査対象地域を住宅系景観として類型できる地区を選ぶこととし、京阪地域の自然発生的住宅地区、計画的戸建住宅地区、街道沿いの伝統的街並み地区を偏りなく取り上げた。具体的には、大阪市、吹田市、枚方市、寝屋川市、大東市、東大阪市、京都市伏見区、中京区、西京区、宇治市を対象とした。

3-2 実態調査の方法

住宅地内の街路を歩き周り、鉢植えやプランターの配置形態、緑量、種類等に特徴が見られる“まちなみ園芸”を探し求め、以下のように現地での実態調査を行った。調査時期は、2003年6月～2004年1月。調査方法は、調査シートの記入及び写真撮影を行った。写真撮影の方法は、図1に示すように、“まちなみ園芸”を正面から立面的に捉えるものと、街路からそれにほぼ垂直に断面的に捉えるものの2通りの視点から行った。

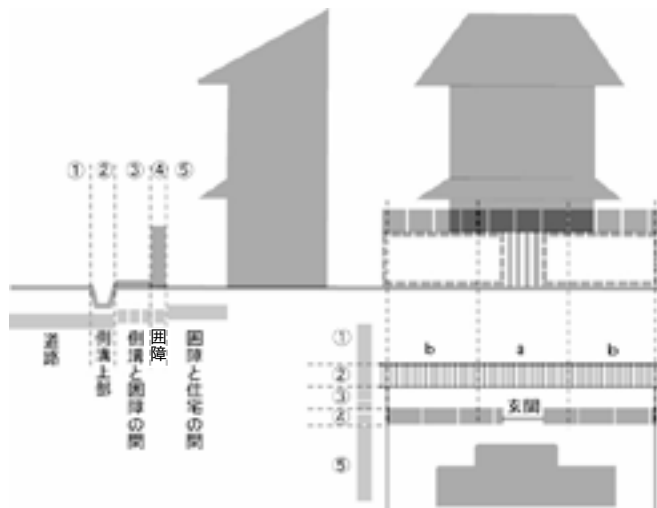


図1 住宅接道境界部のモデル

3-3 “まちなみ園芸”の表れ方の類型的把握

現地調査の結果、132件の“まちなみ園芸”をサンプリングした。調査シートと写真をもとに、鉢植え等の配置と植物のかたちに見られる特徴、図1のどの場所に表れているかを、平面的、立面的な分類から“まちなみ園芸”の表れ方の類型的把握を試みた。

(1) 点型 (23件)

単体の植物を点として認識する、もしくは単体の植物の点が複数、間隔をおいて点在する“まちなみ園芸”である。表れる場所は、窓辺やベランダ、また、門柱の上や玄関先に置かれることが多い。柵や囲障に引っ掛ける、出っ張り部分に置く、門柱の上、門前、玄関前に置く様子が見られる。点型の“まちなみ園芸”は住宅の表にアクセントをつける効果があると考えられる。

(2) 線型 (72件)

単体の植物が、ある方向性を持って、規則的に連なるよう配置され、線として認識される“まちなみ園芸”である。ベランダ、ガレージの外周を囲むように並べられ、玄関アプローチ等の線的空間や囲障及び住宅の外壁等の建造物に沿って並べられることによって表れるものである。線型の“まちなみ園芸”は、住宅と街路との境界を示したり、動線方向へ視覚的に誘導する効果があると考えられる。

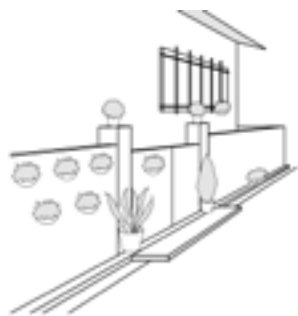


図2 点型



写真1 点型



図3 線型



写真2 線型

(3) 面型 (36件)

以下の3タイプがある。

- ①同種の鉢、プランター、コンテナなど点として表れ出たものが集合し、密になって面として認識されるタイプ。
- ②線状のものが水平方向あるいは、垂直方向に複数列となって表れ、面として認識されるタイプ。
- ③高さ方向に成長するツル性植物等、植物自体の特性が関わって面として認識されるタイプ。

面型の“まちなみ園芸”は、側溝上部に板やブロックを渡して規則的に並べ、緑量アップに貢献している。また、窓辺や柵のハンギングポットで育てられた植物や塀の上に並べられた鉢は、目隠しや進入防止の効果があると考えられる。



図4 面型



写真3 面型

(4) 立体型 (29件)

水平・高さ・奥行き方向に広がりやボリュームを持って表れる“まちなみ園芸”である。線状のものが、上下前後に並んでいたり、図1に示す①～⑤の複数の空間にまたがり組み合わせられることで立体的な“まちなみ園芸”となるものである。鉢植え類の配置に柵が用いられている事例が多く見られ、既製品の場合と手作りの物である場合が見られた。また、柵を用いない配置方法の場合は、アプローチ階段を使用して、鉢植え類を配置している事例が見られた。これらは、規則性のある比較的整然としたタイプである。一方、鉢、プランター、コンテナなどの組み合わせや、高さの異なる植物をコーディネートする等の工夫を凝らして、ボリュームを持たせ、立体として表れているタイプのものも見られた。特別なものとしては、住宅全体が緑で覆われているような事例も見られた。これらは、住宅地景観の個性創出の効果があると考えられる。

3-4. “まちなみ園芸”の実態から捉えた市民のまちなみ形成技法

園芸を行う者には、多かれ少なかれ植物を愛でる心があり、植物を身近に置き、その成長を



図5 立体型



写真4 立体型

楽しみたい、花と緑に囲まれて暮らしたいという思いを持っているであろう。この趣味の園芸が“まちなみ園芸”となった時、そこには植物を愛でる心とは別の何かしらの思いが加わると考えられる。表れ方によって分類した“まちなみ園芸”について、表れる場所、配置形態、大まかな植物の形態から、その“まちなみ園芸”が行う者の、どのような思い・行為の表れであるのか、読み取りを試みる。

(1) (玄関・アプローチ・門前・囲障・窓辺・一体を) 飾る

住人が植物を配置する際に、その場を美しく見せるため飾るように配置することがある。飾るための植物は花の咲くものであることが多い。囲障の有無、アプローチの有無、門の有無、窓がすぐ道路に面しているか等、それぞれの空間条件によって飾られる部分が異なってくるが、どれも我が家を美しくしたいという思いの表れである。

アプローチを飾る行為はそこを通る人に、門前を飾る行為は道路を行く人に、自宅を美しく見せようとするものである。また、美しく見せる他に、道行く人の目を楽しませることも考えられているであろう。

(2) 披露する

その場を美しく見せるために飾ることに対して、対象となる植物を見せるために披露するという行為がある。植物の種類は様々であり、道行く人の目に触れるように配置される。接道部が展示場となり、緑とともに住人の個性がまちなみに表れるといえよう。

(3) 生活の中の要求

住人の生活スタイルから出てくる要求に応じて植物が仕立てられたり、配置されることがある。

- ①遮る、隠す：プライバシーのために道行く人の視線をささげり、窓やその他見せたくないものを緑によって隠している。ただ隠すだけでなく、街路からの視線を楽しませる。
- ②緩衝とする：面的な“まちなみ園芸”で、道路に直接住宅の窓が面していて、外から中の様子がわかってしまうため、植物をついたてのようになっている。
- ③駐車を防ぐ：住宅と道路との境界部にプランター類を並べて、迷惑駐車を防ぐように配置される。

4. “まちなみ園芸”のつくり手の意識調査

4-1 調査の結果と居住者特性

(1) 意識調査の方法

“まちなみ園芸”のつくり手が、“まちなみ園芸”をどのような目的で行っているのか、また、外部（まち・まちなみや人々）への意識の有無とその程度を明らかにするためにアンケート調査を行った。調査対象は、実地調査の対象と同じ132件である。2004年1月にアンケート用紙を直接手渡し（不在の場合は、依頼文を付けポストに投函）、後日郵送にて返送してもらった。結果として、132通配布し、62通の有効な回答を得た（回収率46%）。回答を得られた調査対象地を市別に示すと、大東市17件、寝屋川市1件、枚方市3件、吹田市12件、京都市28件、宇治市1件である。地域別の分析には、サンプル数の比較的多い大東市、吹田市、京都市伏見区20件（以後、伏見区）のデータを用いた。

アンケートは、①住宅接道部で行われる園芸（“まちなみ園芸”）の現況について②住宅接道部で行われる園芸（“まちなみ園芸”）を通じた交流・外部への意識について③花と緑のあるくらしの推進について④今後の園芸・ガーデニング（“まちなみ園芸”）に対する夢や思い等について（自由記入欄）の構成とした。

(2) “まちなみ園芸”を行う主体

回答者の性別は男性21%、女性69%、未回答10%で女性の割合が高い。年齢は50歳以上が90%を占め、居住暦は20年以上が66%である。また、園芸・ガーデニング歴は、10年以上が76%を占め、家族の誰かと一緒に行くが34%、単独で行うが63%であることから、“まちなみ園芸”の主体は、女性の高齢者の割合が多く、長い間園芸を行っている者が多いと考えられる。また、地域別に比較しても同様の傾向が見られた。

(3) “まちなみ園芸”をはじめたきっかけと現在の状況

記述方式での回答から園芸を始めたきっかけをまとめると、①「花好き・趣味」の嗜好性②「引っ越し・新築」等の生活環境の変化、旅先等での経験③問題解決の手段の一つとするものの3パターンが見られた。

また、それらに取り組む姿勢は、「とても熱心に」が3%、「趣味として楽しく」が45%、「毎日の日課として」が10%である。一方で「なんとなく継続」、「あまり何もしていない」と回答した者も見られた。出来映えに対する満足度は、「非常に、あるいは概ね満足」が40%いる一方、「少し、まだまだ不満」が34%いる。園芸を行っている者は、現状をおおむね楽しんでおり、満足しているものと推察できる。しかし、地域別に比較してみると園芸を始めたきっかけ、それらに取り組む姿勢は、同様の傾向が見られるものの、出来映えに対する満足度は、吹田市に

において「少し、まだまだ不満」が42%と満足33%を上回っており、今後、改善したいという意欲が見られた。

4-2 場所からみた“まちなみ園芸”への意識

“まちなみ園芸”における育てる植物の選好性は、地域差は見られず、季節感、花の美しさによるものが上位を占め、「育て易さ」や「育てる楽しさ・愛着」、「家の外観との調和」といった理由も多く選ばれた。

一方、図6に示す“まちなみ園芸”をどこで行っているのかという場所についての問い（複数回答可）には、「前庭：図1の①部分」で64（48.5%）、「囲障と道路の間：図1の③部分」で53（40.1%）、「囲障：図1の②部分」で51（38.6%）、「アプローチ：図1の①部分」で38（28.8%）という結果であった。その理由は、アプローチを除く全ての場所において、植物の生育環境・世話のしやすさを第一に考えていることが分かった。次に、植物を人に見せる、家を飾るといった理由が上位に挙げられていた。場所別に「アプローチ」では、家を飾る、植物を人に見せるといった理由が、植物の生育環境・世話のしやすさを上回り、また、「囲障」では、遮蔽を理由の多く挙げている。つまり、住人は季節感、花の美しさを好み、場所に応じて園芸を行っているといえよう。この結果は、地域別に比較しても同様の傾向が見られた。

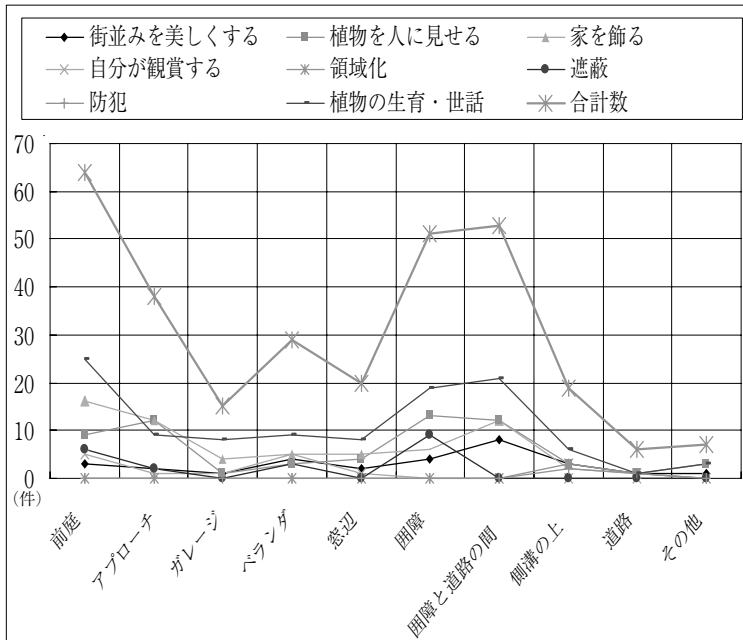


図6 “まちなみ園芸”を行っている場所とその理由

4-3 住人のまちなみへの意識と花と緑を活かしたまちづくりの行政施策に対する意識

(1) “まちなみ園芸”を通じた交流

“まちなみ園芸”を通して「ご近所の方との交流がある」は90%、「道行く人との交流がある」は80%であった。ご近所の方との交流は、「園芸知識や植物を交換する（44.4%）」という園芸に関する交流と「あいさつ・会話（47.5%）」等の園芸を通して生まれる交流である。また、道行く人との交流は、「ほめられる（34.6%）」、「あいさつ・会話（40.1%）」であり、園芸を通して生まれる交流について75%（「望ましい」42%、「どちらかという望ましい」33%）が肯定的に捉えていることがわかった。この結果は、地域別に比較しても同様の傾向が見られた。

(2) “まちなみ園芸”を「見られる」ことへの意識

外部への意識として、道路から、行っている“まちなみ園芸”を見られることに対してどう思うか？という質問には、肯定的な回答が49%（「見てほしい」18%・「どちらかといえば見てほしい」31%）と半数近くを占め、否定的な回答は2%（「どちらかといえば見られたくない」2%・「見られたくない」0%）にとどまっている。行っている者の大半が、その“まちなみ園芸”を外部の者に見られることに対して、否定的には捉えていないといえる。しかし、見られることに対して、「普通」（＝どちらでもない）と答えている回答者の割合が42%と一番高く、自身が行っている園芸を見られるということに対しての意識や観点をもちたない者の割合が一番多いことがわかった。地域別に比較してみると、「見てほしい」・「どちらかといえば見てほしい」の割合が、吹田市では75%、伏見区では50%であり、「見られる」ことを意識している。一方、大東市は「普通」の割合が71%と非常に高く、地域により差があることが分かった。

(3) 花と緑を活かしたまちづくりの行政施策に対する意識

行政の花と緑のまちづくり施策に対する住人の認識度は、80%と非常に高い（知っている48%、名前だけ聞いたことがある32%）ことがわかった。個人的に育てる花や緑を「まちづくり」や「まちなみの向上」に役立てることに、興味が「ある」36%で、「少しある」を含めると57%おり、約半数にのぼる。「まちづくり」や「まちなみの向上」を目的とした、花と緑を育てる取り組みへの参加意識は、やりたい（53%）、普通（27%）、やりたくない（15%）であった。地域別に比較してみると、吹田市が施策の認識度が83%、花や緑を「まちづくり」や「まちなみの向上」に役立てることに、興味が「ある」67%、花と緑を育てる取り組みへの参加意識は、やりたい50%もあり、助成制度の今後の更なる活用が期待できる結果であった。

5. まとめ

花と緑を活かしたまちづくりに対する自治体の取り組みは、花と緑が3：7の割合で展開されていることがわかった。花をテーマとした戸建住宅対象の緑化助成制度は、3市と少なく、

その助成実績も少ない現状にあるものの、啓発活動において多く事例が見られた「園芸・ガーデニング講座」といった人材育成活動や「緑化フェア・コンクール」といった普及啓発活動、ボランティア団体への活動支援といった施策連携により、発展していくことが期待される。

“まちなみ園芸”の表れ方は、点型、線型、面型、立体型の4つに類型化することができ、遮蔽や防御といった花と緑を実用的に利用するものから、玄関や窓辺など家のオモテを美しく華やかに飾るもの、道行く人に披露し、家並みに彩りを与え個性的な景観を形成しているものまで、多様な表れ方が見られた。このような“まちなみ園芸”という現象は、①既成市街地や郊外スプロール住宅地におけるミニ開発⁽³⁾による住宅地②住宅前面道路の幅員が、4m～6mで車の通過交通が少ない住宅地③前庭のない、あるいは駐車場や物干し、庭木等で前庭利用がなされ十分な広さが無い住宅タイプ④道路と宅地の境界部（図-1）の数十cmの隙間（③）や高低差（塀や生垣の基壇となる石積み、擁壁）がある住宅タイプといった住宅地、住宅タイプに見られるケースが多いといえよう。

また、類型との関係として、点型・線型は、100坪を越えるような大邸宅ではあまり見られないこと、面型は角地に見られることが多いといえよう。

一方、“まちなみ園芸”の実態調査から4種類の表れ方を類型化することができたが、それらは、帰納的に調査を進めたため、大阪、京都といった地域性、あるいは都市計画制度によって類型の出現に差異が見られるかといった分析までは至っていないため、今後の課題としたい。

また、アンケート結果より、大半の住人は、通行人から花や緑を見られること、コミュニケーションが発生することに積極的な評価をしており、“まちなみ園芸”が、近隣とのコミュニティ形成に寄与していることがわかった。このように住人個人レベルでは、“まちなみ園芸”が「まちなみ形成」や「まちづくり」に貢献できることを認知しているものの、自治体と官民協働でそれを展開していくことには、参加意識が低く、賛否意見が約半数ずつに分かれてしまうことがわかった。

【補注】

- (1) 都市緑地法第4条にもとづく、「市町村における緑地の保全及び緑化の推進に関する基本計画」のことであり、都市公園の整備など都市計画に基づく事業や制度を対象とするだけでなく、都市計画制度によらない道路や河川などの公共空間の緑化、下水道施設、学校などの公共公益施設の緑化、民有地における緑地の保全や緑化、さらには緑化意識の普及啓発などソフト面の施策も含めた、都市の緑に関する総合的な計画である。策定主体は市町村とされ、地域の実情に応じた施策を講じることが基本とされ、計画内容の公表が法律上義務づけられている。
- (2) 吹田市においては、江坂公園内に「花と緑の情報センター」、伊丹市においては、荒牧バラ公園内に「みどりのプラザ」、神戸市においては、諏訪山公園内に「花と緑のまち推進センター」が整備されている。
- (3) ミニ開発には、厳密な定義はないが、「開発規模が小さい狭小な戸建て住宅開発」であり、概ね

開発規模としては、都市計画法の開発行為となる規模以下（開発区域面積500㎡未満）であり、敷地規模としては100㎡未満といった開発である^{<1>}。

【引用文献】

<1>三船康道+まちづくりコラボレーション(2002):まちづくりキーワード事典第二版, 学芸出版社, p.52

【参考文献】

- 1) 篠塚香里, 横張真, 栗田英治, 渡辺貴史 (2003): 密集市街地における鉢植えの緑の配置と形態, ランドスケープ研究66 (5), pp.825-828
- 2) 真鍋千恵子 (1998): 下町の緑の実態と効用～街と人とを緑がつなぐ, ランドスケープ研究62 (1), pp.42-44
- 3) 権孝姫, 松尾英輔, 高藤博之 (2001): 専用住宅の門外または玄関前の植物の配置状況について, ランドスケープ研究64 (5), pp.375-378
- 4) 北原啓司, 桂久男, 近江隆 (1989): 住戸まわりにおけるSP化と「境界」形態—既成市街地における微景観の形成#2—, 第24回日本都市計画学会学術研究論文集, pp.415-420
- 5) 高野基樹, 柴田久, 土肥真人 (1999): 公私空間の境界部に対する意識と形態に関する研究—世田谷区成城を事例に—, 第34回日本都市計画学会学術研究論文集, pp.451-456
- 6) 井上加奈子, 仙田満, 矢田努, 井上寿 (2000): 戸建て住宅地における塀の形態と住民意識に関する研究, ランドスケープ研究63 (5), pp.683-686
- 7) 一海有里, 清水忠男, 佐藤公信, 陳明石 (1999): 住宅街路における公私間の仕切り方が人々に与える心理的影響, 日本建築学会計画系論文集第, 526号, pp.215-222
- 8) 川根あづさ, 愛甲哲也, 浅川昭一郎 (2000): 北海道恵庭市恵み野を事例とした住民の庭づくりに対する意識と取組みについて, ランドスケープ研究63 (5), pp.695-700
- 9) 東京農業大学造園学科編 (2002): 造園用語辞典第二版, 彰国社
ホームページは, 2004年4月にアクセス
- 10) 大阪市ゆとりとみどり振興局, 公園・緑化情報
http://www.city.osaka.jp/yutoritomidori/park/kihonn/top_midori.html
(以降<http://www.city>を省略)
- 11) 交野市農とみどり課, 交野市緑の基本計画の概要
katano.osaka.jp/kakka/kouen/kihonkeikaku/keikaku.htm
- 12) 寝屋川市公園緑地課, 寝屋川市緑の基本計画
neyagawa.osaka.jp/kouen/plan01.htm
- 13) 東大阪市公園緑化室みどり対策課, 東大阪市みどりの基本計画
higashiosaka.osaka.jp/150/150040/midoriplan.html
- 14) 箕面市みどり推進室, 計画ホーム (策定中)
www2.city.minoh.osaka.jp/MIDORI/KEIKAKU/keikakuhome.html
- 15) 茨木市公園緑地課, 広報いばらき2001年3月号p18,19
ibaraki.osaka.jp/koho/koho15/0103/pdf.files/01_03-p18%7E19.pdf
- 16) 高槻市公園緑政室, -各種行政計画-緑の基本計画

- takatsuki.osaka.jp/db/manabu/db3-midoribase.html
- 17) 松原市公園緑地課, 「広報まつばら」2004.2.号(策定中)
matsubara.osaka.jp/koho/0402.html
 - 18) 大阪狭山市道路公園課, 大阪狭山市くらしのガイド
www2.city.osakasayama.osaka.jp/index.asp?kubunno=3
 - 19) 堺市緑政課, 「堺市緑の基本計画」の概要
sakai.osaka.jp/city/info/_kouen/ryokusei/kihonkeikaku/infokihon.htm
 - 20) 岸和田市公園緑地課, 「広報きしわだ」2000年10月15日号(第963号) 1面
kishiwada.osaka.jp/hp/kouhou/2000/1015/001015p1.html
 - 21) 泉南市都市計画課, 泉南市みどりの基本計画
sennan.osaka.jp/tokei/midori/pdf.htm
 - 22) 神戸市公園砂防部計画課, グリーンコウベ21プラン
kobe.jp/cityoffice/30/042/green/green-kobe21.htm
 - 23) 西宮市公園緑地課, 『緑の基本計画』
kusunoki.nishi.or.jp/homepage/hana/kouen/kihon-keikaku/zenbun/kihonkeikaku-zenbun.html
 - 24) 川西市水と緑の推進課, 川西市役所 水と緑の推進課
kawanishi.hyogo.jp/mado/citywork/miz-mdr/index.htm
 - 25) 明石市公園緑地課, 明石市緑の基本計画
akashi.hyogo.jp/matiinfo/kouen/kouen.html
 - 26) 加古川市公園緑地課, 一加古川市一加古川市緑の基本計画
kakogawa.hyogo.jp/hp/kouen/index.htm
 - 27) 赤穂市都市計画課, 赤穂市緑の基本計画修正概要
ako.hyogo.jp/NEW/toshikei2/index.html
 - 28) 京都市緑政課, 京都市緑の基本計画
kyoto.jp/kensetu/ryokusei/keikaku/keikaku_frame.html
 - 29) 亀岡市, 亀岡市緑の基本計画
kameoka.kyoto.jp/gyousei/midori/src/index.html
 - 30) 長岡京市都市管理課公園緑地係, 京都府長岡京市
nagaokakyo.kyoto.jp/
 - 31) 八幡市公園緑地課, 京都府八幡市
yawata.kyoto.jp/cgi-bin/odb-get.exe?wit_template=AM020000
 - 32) 城陽市都市計画課, 城陽市ホームページ じょうようみどりPLAN
joyo.kyoto.jp/
 - 33) 舞鶴市都市整備課, 「広報まいづる」2000.11.1.号
maizuru.kyoto.jp/
 - 34) 生駒市公園緑地課, 緑の基本計画(素案)概要版
ikoma.nara.jp/fs/4-1_kakuka.html
 - 35) 橿原市都市施設整備課, 橿原市緑の基本計画
kashihara.nara.jp/midori/midori.htm
 - 36) 香芝市企画政策課, 香芝市公式サイト 緑の基本計画
kashiba.nara.jp/index2.php
 - 37) 大津市公園緑地課, OTSU City Website大津市の基本情報

otsu.shiga.jp/cgi-bin/odb-get.exe?WIT_Template=AC020000&Cc=7D14B5E2CD&DM=jopvfzp
tjjjxbub&TSW=

- 38) 長浜市都市計画課, 緑化推進コーナー
nagahama.shiga.jp/ryokuka/index.html
- 39) 吹田市緑化公園室, みどりの助成 (生垣等緑化推進助成制度)
suita.osaka.jp/kobo/ryokkakoen/page/001075.shtml
- 40) 吹田市緑化公園室, みどりの助成 (みどりの協定と助成)
suita.osaka.jp/kobo/ryokkakoen/page/001076.shtml
- 41) 伊丹市 (財) 伊丹市公園緑化協会, 庭先花壇協定
eonet.ne.jp/~i-midori/niwasakikadannkyoutei.htm
- 42) 神戸市公園砂防部計画課, 緑と花の市民協定
kobe-toshi-seibi.or.jp/matisen/1jouhou/jigyosyokai/miryokuka/
- 43) 芦屋市都市整備公社みどりの課, 暮らしのハンドブックみどり,
ashiya.hyogo.jp/handbook/midori.html#jyosei